

# 美しい 県土づくりNEWS

知恵と工夫

2004年  
August 8

岩手県県土整備部広報誌  
美しい県土づくり NEWS 創刊号  
平成 16 年 8 月 1 日発行  
編集 県土整備企画室

## CONTENTS

Page	● 今月の人
2	県土整備部長 橋本義春
3	● 特集
	県民参加による県土づくり
5	● 現場情報
7	● 県土整備 TOPICS
8	● データウォッチング トンネル延長
	● 土木建築作品 北上大橋(川崎村)
9	● インフォメーション

## 物流を支える幹線道路、整備中！

一般国道 283 号仙人道路地区(遠野市)



県土整備部では、創造力あふれ活力がみなぎる産業が展開する社会実現のため、物流を支える幹線道路を整備するなど、産業活動を支える基盤づくりを進めています。

## ●今月の人

### 父親の域



#### 県土整備部長 橋本義春

県土整備部長を拝命して4ヶ月が経とうとしておりますが、日々新たな体験に感動と責任の重さを感じながら勤めております。

職員の皆様におかれましては第二四半期に入り、上半期発注目標達成に向けて業務に拍車を掛けていただいておりますことと感謝を申し上げます。

現在、行財政構造改革が進められておりますが、当部でも污水处理や道路、海岸、砂防施設整備など庁内各部において実施している類似業務を統括し、組織や企画担当の一元化などについて検討を行っております。また、昨年度の政策評価を行っているところであり、その成果をもとに来年度の重点施策を立案していくこととなりますが、40の政策に直結する業務が少ない当部にとりましては厳しいものが予測されます。

今年度も振興局土木部長等の出席をお願いし、サマーレビューを予定しておりますが、地域の皆様の要望やご意見を反映すると共に今後総合政策室から出される重点化にかかる情報を的確に捉えご検討を頂きたいと思っております。

さて、8月は盂蘭盆の月でもあり先祖の墓参のため実家にお帰りになったり、この機会に旅行される方などがいらっしゃると思いますが、それまでに業務に区切りを付けられまして是非この間は仕事を離れ鋭気を養って頂きたいと思っております。

私事ですが、7月に連休を利用して中学校の同期会に出席してきました。43年ぶりに再会した友人もあり、一変に時代を遡るタイムマシンに乗って、懐かしい故郷の風景や時代背景と一緒に忘れていた様々な事、悪戯して怒られたり授業をサボって先生に殴られたりしたことなどを思い出す事になりました。

近年、物忘れ症候群に罹っている私にとって、この日は昔のことは忘れずに覚えていた我が父親の域に達したなあと感じた一日になりました。

ともあれ、皆様におかれましては移動等に当たっては交通事故に十分ご留意の上、楽しい休暇をお過ごしいただきますようお願いいたします。

## 特集

### 県民参加による県土づくり

NPOや地域団体との協働事業について紹介します。詳しくは「県民参加・NPO等協働通信」をご覧ください。

#### 16年度県土整備部における主なNPOとの協働事業

No.	NPO名	事業名	事業内容	担当課
1	循環資源デザインネットワーク 他5団体	ともだち・川・交流サポート事業	県の管理する河川、ダム、海岸をフィールドに、子どもを主役とした連携活動が活発になるよう、活動を企画・運営する地域活動団体に活動費を補助。 【循環資源デザインネットワーク事業概要】 1. 実施時期 7月～8月 2. 実施場所 早池峰ダム湖及び山村文化交流館 3. 事業内容 ①カヌー試乗体験、②カヌースクール、③早池峰ダム探検隊	河川課
2	いわてNPOセンター	土砂災害危険防止対策住民意識調査事業	土砂災害対策における住民意識調査を実施する。 ① 住民聞き取り調査 ② 懇談会(3市町村、各1回) ③ 意識調査とりまとめ	砂防災害課
3	花巻文化村協議会	花巻広域公園の利活用促進事業(地域活性化調整費)	1 利活用促進イベント「ぎんがのもり 夏まつり」 ① 実施期間 16年7月19日(月・祝) ②場所 花巻広域公園 ② 内容 フリーマーケット・屋台村・ウォークラリー等の開催 2 利活用促進ワークショップ ① 公園の魅力検証、②整備・運営・管理手法の検証 ② 提言案策定に向けた合意形成 等	花巻地方振興局土木部
4	※現在、委託NPO(5団体程度)を募集中	地域の景観点検	1. 実施期間 平成16年7月中旬～10月中旬 2. 委託内容 ①点検区域内の住民により現地踏査を行い、優れた景観(景観資源)と見苦しい景観(景観阻害要因)を抽出、整理して、地域景観マップ、リスト等を作成。②10月頃までに、点検活動を報告書にまとめ、実施報告書及び報告概要書を作成。③景観に関するフォーラムの開催	都市計画課
5	岩手で茅葺き技術の伝承を促進する委員会	御所湖広域公園南部曲がり家茅葺屋根葺き替え事業(仮称)	1. 南部曲がり屋の補修(茅葺屋根の葺き替え)移築から30年近く経過し、老朽化が著しい南部曲がり屋の茅葺屋根をNPOに委託し葺き替える。 2. 公園の利活用に関するワークショップ 公園の利活用計画及び維持管理計画の策定作業	盛岡地方振興局土木部
6	緩衝緑地をつくる会(仮称)	花巻空港緩衝緑地整備事業	14年度、15年度と花巻文化村に委託し花巻空港緩衝緑地管理手法のワークショップを開催してきたが、地域住民・事業関係者からの意向により従来の「草の根座談会」を「NPO(仮称)緩衝緑地をつくる会」として設立させ、管理手法等について検討することとなった。	港湾空港課

# 県民参加 NPO等協働 通信

県土整備部では、本年3月に「県民参加の推進プログラム」を作成し、県民との協働による県土づくりについて、部を挙げて展開することとしています。

また、社会資本の整備やメンテナンスに当たっては、これまで以上にNPOなどとの協働を積極的に推進していきます。

このコーナーでは、県内の県民参加の活動事例やNPOなどとの協働事例を紹介します。



## その1 県立花巻広域公園 ぎんがのもり夏まつり

- 事業名称 花巻広域公園利活用促進事業（地域活性化事業調整費）
- 事業期間 H15～
- 事業概要 花巻広域公園利活用促進のためのイベント、ワークショップの企画運営

花巻広域公園ぎんがのもりは、県民のレクリエーションの場として整備され、開園から23年が経過しました。しかし、年々施設が老朽化するとともに、利用者数も減少傾向にありました。そこで、平成15年度より利活用促進のためのイベントと住民参加型ワークショップを開催する事とし、経験と幅広いネットワークを期待してNPOと協働することになりました。

イベントは、海の日を「花巻広域公園の日」とし、屋台やフリーマーケット、ミュージックイベント等を行い、今年は2200人ものお客様にご来場いただきました。今回のイベントは、昨年度からワークショップに参加されている県民の方も実際に出店し、これからの利活用促進活動へのステップにもなったようです。

また、ワークショップでは、昨年参加した県民の皆さんから提言していただいた利活用促進策を実践するための準備をすすめているところです。

これから11月まで月一回の様々なイベントや、ワークショップ等を行う予定です。



## インタビュー

特定非営利活動法人  
花巻文化村協議会  
竹花 清



### 『県民と行政とNPOと』

—花巻広域公園「ぎんがのもり」における協働事業—

花巻広域公園ぎんがのもり利活用促進事業も2年目の今年はいよいよ実践編となります。常時30名以上のコアメンバーによる5つの公園利活用プロジェクトも始動します。ワークショップは非常に困難なプロセスを伴うことがありますが、本事業においてこれは杞憂でした。なぜなら一般県民の中から自主的に参加された様々な職業を持つ参加者どなたもが、公園等公共施設における課題は行政のみならずわれわれ自身の問題として積極的に関わり共に行動しなければ解決しないことを十分に理解していたからです。

昨年度は雨に見舞われたイベントも今年の夏まつりはようやく天候に恵まれ多くの来場者で賑わいました。あきらめずに事業を継続した県とわれわれNPOやボランティアスタッフの努力も報われました。今年は毎月開催して様々な利活用の可能性を検証しながら、県民や地域にとってより設置効果の高い公園となることを目指します。今後もぎんがのもりを応援してください。



### ぎんがのもり夏まつり概要

- 開催日時 16年7月19日 10:00～16:00
- 来園者数 約2200人
- イベント内容
  - ✦ 屋台村 24店
  - ✦ フリーマーケット 29店
  - ✦ 地産地消フェア 6団体
  - ✦ ミュージックフェスティバル 5組
  - ✦ 県産材フェア（カヌー体験教室） 50名
  - ✦ おもしろたんけんたい 31名
  - ✦ 利活用プロジェクト検討委員会（ワークショップ） 32名
  - ✦ 花巻地方出前産直（花巻農業改良普及センター主催） 11団体

# その2

## 親しみのある諸葛川を 考えるワークショップ

### 1. 事業の目的

諸葛川の基幹河川改修事業は、昭和48年から実施されてきており、今年度で当初の計画区間 L=約5.6 km (雫石川合流点から市兵衛川合流点まで)の改修が平成15年度で完了しておりますが、その間、諸葛川周辺では、急速な都市化の進展に伴い自然環境が失われつつあります。

そこで、県の新たな公共事業(壊す公共事業)のモデルとして、水辺環境再生事業を導入し、都市化が進む諸葛川周辺の中で、比較的的自然環境が残っている穴口地区の河川公園周辺において、既設のコンクリート護岸などを周辺環境と調和する護岸とすることや、ビオトープなどの生物の生息環境を整備することにより、更なる自然環境の創出と周辺住民の憩いの場を創出するものです。

計画の立案にあたっては、ワークショップなどの開催により住民と協働による計画策定を進め、事業実施のみならず、完成後の河川利用の促進と地域住民の方々に愛着を持ってもらえる川を目指していきます。



### 3. これからの予定

第3回ワークショップで、全体計画の概要がまとまったことから、今後、詳細設計を実施し、今年秋には、工事に着手する予定です。

そして、今回、出前ワークショップに参加していただいた月が丘小学校の5年生が卒業するまでの間に、現地がある程度の形が出来ている状況にする予定です。

### 4. おわりに

今回の事業では、計画策定段階だけでなく、工事実施中なども住民の工事への参加や見学会の開催など、できるだけ、地域住民と一緒に事業を実施し、親しみのある諸葛川をつくり上げていきたいと考えています。



### 2. 出前ワークショップ(in 月が丘小学校)

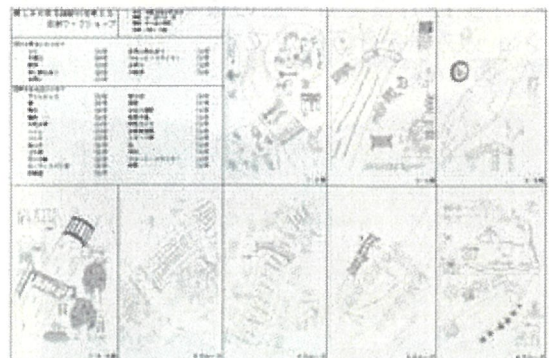
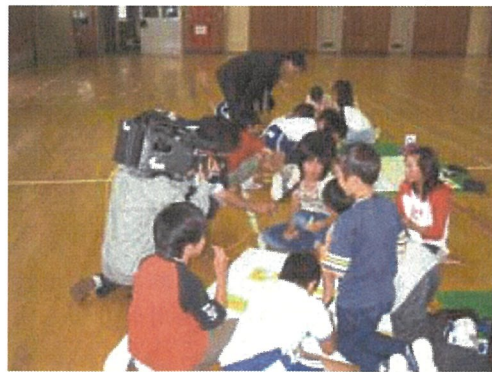
今回の計画策定にあたっては、これから地域を担っていくことになる子供たちの意見も取り入れていくために、計画区域のすぐ側にある盛岡市立月が丘小学校の5年生2クラス、約80人程を対象として、総合学習の時間を利用した出前ワークショップを6月22日(火)開催しました。

ワークショップでは、約80人が8班に分かれて「諸葛川で何をしたいか、何があればいいか」について話し合ってもらい、1枚の模造紙に言葉と絵でまとめてもらい、最後に各班毎に発表してもらいました。

2時間という限られた時間の中でしたが、みんな非常に手早く作業を進め、大人たちよりも立派に意見の取りまとめが行なわれました。

月が丘小学校では、4年生の総合学習で、諸葛川をテーマに川の流れの強さや動植物などをテーマに学習しているとのことで、諸葛川への知識も豊富で、今回の5年生は、最も適した学年でした。

今回のワークショップは、IBCテレビの取材を受けた他、今年諸葛川をテーマに学習する4年生3クラスも先輩たちの作業状況を見学しました。



## 現場情報

### 新仙人への思いを託して

一般国道 283 号仙人峠道路は、高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路として、国と県が平成 4 年度に事業着手し、平成 18 年度の完成を目指して整備を進めています。仙人峠付近は地形が急峻で、急勾配、急カーブが連続しており、大型車両のすれ違いなどに支障を来しており、狭隘な仙人トンネル (L=2.5km) を含む延長 3.4km の区間の改良が必要となっていることから、ルートを変更して工事を行っているものです。

仙人峠道路 L=18,600m (内 県 L=5,400m 国 L=13,200m)  
W=12.0m

県が行う区間については、今年度用地買収と工事を進めています。

- 工事名称：一般国道 283 号仙人道路道路改築事業
- 事業期間 H4～H18 (予定)
- H16 事業費 7 億円



国施工の滝観洞トンネル方面を望む



県施工の秋丸トンネル

### 民話のふるさとを守る遠野第二生活貯水池(第二ダム) 建設事業

この事業は、過去の水害を教訓に、遠野市民の生命と財産を守るため、ダム本体と洪水吐トンネルの築造を行うものです。

この事業では、昭和 56 年の氾濫のような概ね百年に一度の洪水でも被害を食い止めることができるよう計画しております。上流の遠野ダムでも補修工事を進めており、この二つのダムの完成により洪水から市民を守る強固な施設が整備されることとなります。



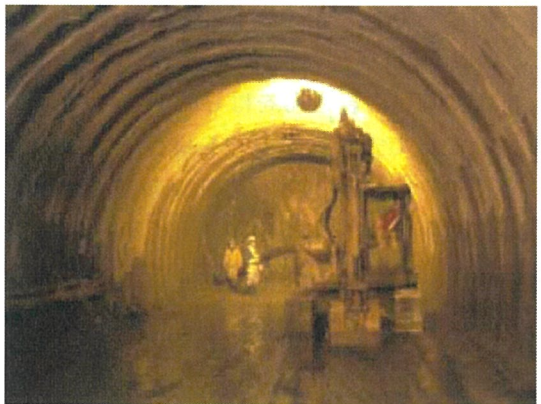
築堤予定地

### 洪水吐トンネル整備の概要

- 工事名称：遠野第二生活貯水池洪水吐トンネル築造工事
- 工事場所：遠野市遠野町九重沢地内
- 工事期間：平成 15 年 3 月～平成 20 年 3 月 (予定)
- 現在の工事状況 (7 月末現在)  
進捗率 30.0% (請負比率)

トンネル施工延長 610m (全体延長 2,067m)

現在、花崗閃緑岩の強風化部分を抜け、地山が一番硬い部分に達しており、日進約 7m のペースで掘削中です。



トンネル掘削作業状況

## 現場情報

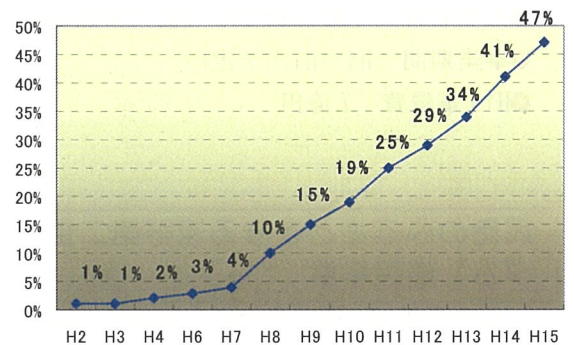
### グラウンドワーク手法による環境再生と コミュニティ再生

後川は花巻城の北側に位置しもともとは北上川であった河川です。江戸時代から洪水被害に悩まされ改修を繰り返した結果、北上川⇒瀬川⇒枇杷沢川⇒後川と変遷し、現在の改修は昭和 50 年代に完了した歴史ある河川です。しかし、水質の悪さ等の理由から公園内で人の往来が多くありながら親水性のない河川となっていました。そこで、地元の有識者や町内会の方々が中心となり「後川の水辺空間を考える懇談会」を開催し、住民参加により整備方針や河川再生プランを策定しました。計画では既存護岸を一部撤去することにより親水性を確保するほか、浸水対策や生態系、水質にも配慮して河川の環境再生を図っていきます。

- 事業名称：一級河川後川 河川環境再生事業
- 事業期間 H15～H17
- H16 事業概要：親水施設整備ほか
- H16 事業費 15,000 千円（全体 60,000 千円）



下水道整備状況(後川流域水洗化率)



### 花巻空港は今年 40 周年を迎えます！

花巻空港は昭和 39 年 2 月に供用開始されてから今年で 40 周年を迎え、7 月 30 日に花巻温泉ホテル千秋閣において「空港 40 周年記念式典」が行われました。

空の玄関口として重要な役割を担ってきましたが、現在、国際チャーター便の運航拡充に対応するとともに、航空機の離発着時の安全性や冬季就航率の向上などの利便性を高めるため、滑走路を 2,500m に延長するための工事が、平成 17 年 3 月の供用開始に向けて進められています。

また、県民の皆さんをはじめ、県外からいらっしゃるお客様の安全で安心な空の旅を確保するため、航空機不法奪取事件(ハイジャック)対応訓練の実施や、進入表面に近接する立木等を除去するほか、NPO 等と協働しながら緩衝緑地の環境整備に取り組みます。その他、滑走路延長に伴い化学消防車を 1 台購入し、花巻空港の円滑な運用の確保につとめていきます。





## 森と湖に親しむ旬間 プレイベント

7月2日(金)、3日(土)

7月2日(金)と3日(土)の二日間にわたり、盛岡市の中津川河川敷と「プラザおでっ」を会場に、いわての森・川・海条例制定記念「森と湖に親しむ旬間」プレイベントが開催されました。

このイベントは、同条例の施行を機に、河川を軸とした上下流域の相互理解の推進と、県内企業等による環境や新技術への取り組みを紹介することにより、安全で楽しい水辺や森林の利用促進について理解を深めてもらうために企画されたもの。

当日は、1500人を超す方々が会場を訪れ、サラリーマン転覆隊の本田氏の爆笑河川トークや、展示ブースで紹介されていた資源循環の取組みや川の上下流連携の取組みを見学した。



## 豪華客船「飛鳥」入港

7月21日(水)

7月21日、大船渡港の野々田埠頭に、日本最大級の豪華客船「飛鳥」(郵船クルーズ、28,856トン)が入港しました。飛鳥は、穏やかな湾内をその巨体を滑らせるように航行。まさに浮かぶホテルのような威容でした。大勢の市民が、郷土芸能などで歓迎。首都圏などからの乗客約530人は市内観光や平泉や遠野などへのバスツアーを楽しみました。

大船渡港への寄港は、13年連続の17回目となりました。これだけの寄港は全国でも珍しく、飛鳥と大船渡港と縁の深さを物語っています。

岩手県への今年度の豪華客船の寄港は、このほかに「ぱしふいっくびいなす」(びいなすクルーズ、26,518トン)が、大船渡港と久慈港に寄港する予定となっています。



## 平成16年度両磐地区合同水防演習を実施

7月25日(日)

7月25日(日)に一関市総合体育館(ユードーム)西側において、両磐地区合同水防演習を行いました。これは、出水期をむかえ水防体制の充実強化を図るとともに、水防意識を高め水防団員の技術を強化するため、北上川流域の関係機関が合同し、毎年行っているもの。

当日は両磐地区の水防団関係者約570名、ボランティア参加の高校生約70名、地域の自主防災組織約100名、一般見学者約150名が参加。

会場では、両磐地区の水防団による水防工法実演やポンプ車による排水訓練、応急橋架訓練のほか、高校生と水防団が協同して積み土のう工法の演習が行われました。



## 河川愛護団体感謝状贈呈式

7月29日(木)

7月29日(木)にホテル東日本において、河川愛護団体等感謝状贈呈式が開催されました。これは、県が管理する一級河川と二級河川について、地域における河川環境の美化保全活動や河川愛護活動の一役を担っている個人や団体を表彰するもの。

当日は、12年間滝名川河川敷や堤防の草刈を行ってきた阿部喜六さん(紫波町)、14年間仲居川堤防の草刈を行ってきた松里昇さん(大迫町)、13年間馬淵川河川敷の草刈を行ってきた晴山町内会(二戸市)が橋本部長から感謝状の贈呈を受けました。

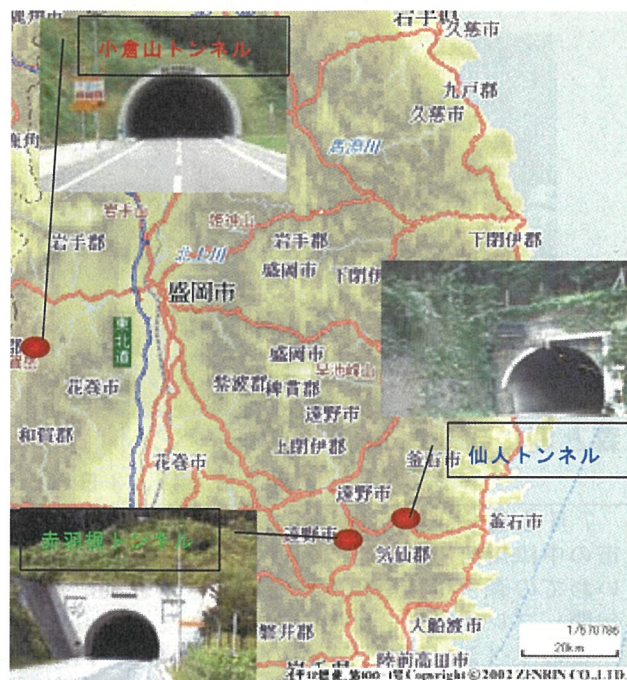
# データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧になれます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

## トンネル延長のベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長	単位：m
1	国 283号	仙人トンネル	2,499.0	
2	国 340号	赤羽根トンネル	1,998.0	
3	主 花巻大曲線	小倉山トンネル	1,765.0	
4	主 盛岡横手線	山伏トンネル	1,282.0	
5	国 106号	下達曾部トンネル	997.0	
6	国 396号	小峠トンネル	995.0	
7	一 宮古港線	小山田トンネル	875.0	
8	国 397号	種山トンネル	870.0	
9	国 397号	赤金トンネル	855.0	
10	国 107号	白石トンネル	807.7	



## 土木建築作品

Vol.1 北上大橋  
KITAKAMI OHASHI

県民に親しまれてい  
る文化的価値の高い  
土木建築作品を紹介  
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（由盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（由花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介します。

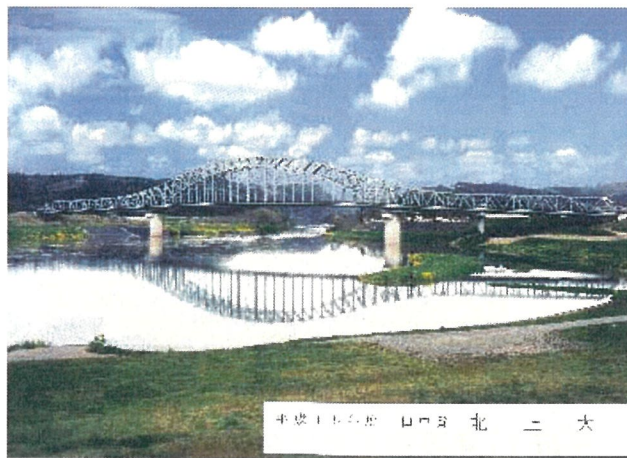
**【北上大橋】** 先代の橋は、昭和9年に着工し、平成11年7月、あと9mで完成という時、増水のため足場もろとも流されました。再度架橋に取り組み、昭和13年に完成しました。全長204mの当時としては極めて斬新な形式のブレースド リブタイド アーチ橋でした。

現橋は、平成6年に着手し、15年春に完成しました。旧橋のイメージを残しつつ、力学的に無理のない構造を追求した結果、非常に優美な景観を得ることができました。この新橋は、ベント設置による自走式クレーンの片持ち架設でコスト縮減し、優美な構造と併せて評価され、16年6月に、土木学会田中賞作品部門賞（注釈）を受賞しています。

北上川に架かる橋には、それぞれ固有の歴史があります。地域間交流に寄与するばかりでなく、地域のランドマーク的存在でもあり、大河北上川に隔てられた兩岸を結び、岩手の交流物流を支えてきた岩手の歴史と文化に深く結びついた建造物の数々ではないかと思えます。

### ※ 田中賞とは

「田中賞」は、橋梁・鋼構造工学会の権威者であり、日本の橋梁界・鋼構造界の育ての親である故田中豊博士の功績を偲び、昭和41年に土木学会賞の一つとして発足したものです。「作品部門」では、設計者や施工者などではなく、あくまでも作品である橋などが表彰されます。県内では、昭和55年に北上市にある第二孫屋敷架道橋（日本国有鉄道）が受賞しています。



次世代にその優美な姿を引き継ぐ北上大橋の全景

### 地元の子供たちからのメッセージ紹介

#### 「川崎村のシンボル」

川崎中学校2年 和泉日向子

全長482メートル、青緑色で、がっちりした、なんともたくましい北上大橋。

これから川崎村がどんな試練にみまわれようと、きっと、この村のシンボル北上大橋は私たちをいつまでも見守ってくれるのだと私は信じています。そして、これからの川崎村の歴史をたくさん刻み込んでいくことと思います。 出所：「北上大橋物語」より



# Information

内容等につきましては、  
各担当にご確認願います。

## 8月の主な 行事予定

### ●豊沢川クリーン大作戦

- 期日 8月1日(日)
- 時間 7時～9時
- 場所 豊沢川(現地)
- 対象 関係者
- 担当 花巻地方振興局土木部

### ●土砂災害危険防止施策検討委員会

- 期日 8月2日(月)
- 時間 11時～15時
- 場所 釜石市内
- 対象 関係者
- 担当 釜石地方振興局土木部

### ●早池峰ダム「森と湖に親しむ子どもまつり」

- 期日 8月3日(火)
- 時間 9時～13時30分
- 場所 早池峰ダム
- 対象 一般
- 担当 花巻地方振興局土木部

### ●岩泉・館工区供用開始式

- 期日 8月3日(火)
- 時間 10時～11時
- 場所 岩泉町館工区
- 対象 関係者
- 担当 宮古・岩泉土木事務所

### ●岩手県の港湾を考える市町長懇談会

- 期日 8月4日(水)
- 時間 13時～17時
- 場所 盛岡グランドホテル
- 対象 関係者
- 担当 港湾空港課

### ●第4回県民ゴルフ場検討委員会

- 期日 8月5日(木)
- 時間 13時30分～15時
- 場所 県民会館
- 対象 関係者
- 担当 都市計画課

### ●岩手の川づくり懇談会

- 期日 8月5日(木)
- 時間 13時30分～15時
- 場所 未定
- 対象 関係者
- 担当 河川課

### ●新分野進出支援セミナー

- 期日 8月5日(木)
- 時間 13時30分～16時30分
- 場所 両磐地域職業訓練センター
- 対象 建設業者等
- 担当 千厩地方振興局土木部

### ●これからの高速道路を考える地方委員会

- 期日 8月6日(金)
- 時間 13時～
- 場所 東京都
- 対象 関係者
- 担当 道路建設課

### ●道の日イベント

- 期日 8月7日(土)～8月27日(金)
- 場所 県内各地で開催(詳細については、次ページに記載のとおり)
- 対象 一般
- 担当 道路環境課

### ●山口川市民ネットワーク設立総会

- 期日 8月12日(木)
- 時間 13時30分～15時
- 場所 宮古合同庁舎
- 対象 関係者
- 担当 宮古地方振興局土木部

### ●農業用河川工作物応急対策事業「新田堰頭首工」竣工式典

- 期日 8月20日(金)
- 時間 15時～17時
- 場所 ホテル志戸平
- 対象 関係者
- 担当 花巻地方振興局土木部

### ●平成16年第一次災害査定概況説明会

- 期日 8月23日(月)
- 時間 13時～
- 場所 盛岡合同庁舎
- 対象 関係者
- 担当 砂防災課

## 県政番組の お知らせ

### ●いわて情報ステーション シリーズ ふるさとの森・川・ 海② 川で遊ぼう

- 期日 8月29日(日)
- 時間 7時45分～8時
- 番組 テレビ岩手  
いわて情報ステーション
- 担当 河川課
- 内容 「川の達人」に閉伊川を案内してもらい、釣りやボート遊びを通じて、川の多面的な機能や健全な水循環について考える番組

# 8月は道路ふれあい月間

毎年8月1日から31日までの1ヶ月間は、「道路ふれあい月間」として、道路とふれあい、道路の機能、大切さを再認識して頂き、さらには道路をいつくしむという意識をもっていただくことを目的に様々な催しが行われます。

今年は、「道路ふれあい月間」の行事として次のとおり各種行事を予定しております。詳しくは、関係機関に直接お問い合わせ願います。

月日	事業名	事業内容	人数	関係機関
8/7(土)	早坂トンネルを歩く会	平成16年6月に無事貫通式を迎えた早坂トンネルを、盛岡側坑口から岩泉側坑口まで歩く。	50名	玉山村
8/7(土)	早坂トンネルを歩く会	早坂トンネルは、平成16年6月に無事貫通式を迎えた。これを記念し、岩泉側坑口から盛岡側坑口まで3,115mを歩く。	50名	岩泉町
8/8(日)	歴史の道シリーズ「九戸政実ゆかりの地を訪ねる」	長興寺から九戸神社まで、九戸政実ゆかりの道を、説明を受けながら歩く。	200名	国交省二戸国道維持出張所、二戸地方振興局管内市町村等
8/10(火)	“優しい道”を考える	道路の発注者、施工者そして利用者が、それぞれの立場から語り合い、実際に道路を歩きながら危険箇所の点検などを実施。	50名	水沢地方振興局管内市町村、岩手県建設業協会水沢支部青年部等
8/10(火)	第4回黄金ロードふれあい作戦	県、市町、建設業協会一関支部と共同で道路清掃活動(空き缶、ゴミ拾い)を行なう。	100名	一関市、平泉町、花泉町、岩手県建設業協会一関支部
8/10(火)	道の駅川崎周辺及び一般国道284号沿いクリーン作戦	道路愛護の啓蒙活動として、道の駅川崎を中心としてパンフレット等による広報活動、花の苗等の配布、沿道の清掃活動を実施する。	60名	岩手県建設業協会千厩支部青年部、婦人部
8/10(火)	大船渡「道の日」記念行事	歴史街道生出道の約7kmを散策する。	350名	大船渡市、陸前高田市、住田町、国土交通省、建設業協大船渡支部
8/10(火)	第17回旧釜石街道・仙人峠の集い	旧釜石街道を、仙人トンネル遠野側坑口から陸中大橋駅まで歩く。	280名	遠野市、釜石市、国土交通省、林野庁
8/10(火)	道の日 in 宮古	クリーン作戦(道路清掃)及び街頭パレードを実施する。	300名	宮古市、三陸国道事務所及び宮古警察署等
8/23(月)	道の駅石鳥谷合同広報活動	「道路」の意義、重要性、道路愛護思想の啓蒙及び交通安全意識の高揚を目的とし、道の駅「石鳥谷」において、広報活動を実施する。	45名	花巻地方振興局土木部花巻警察署、石鳥谷町、岩手河川国道事務所等
8/27(金)	秀衡街道・黄金の道を散策する会	平泉黄金文化を支えた金山の運搬路であった秀衡街道のうち湯田町甲子から湯川までの約6kmを散策して道の大切さを学ぶ。	85名	北上市、湯田町、沢内村

## 日本の道100選

日本の道100選は、「道の日」制定(昭和61年度)を記念し、日本の特色ある優れた道路を選定・顕彰することによって、道路の意義・重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高めるために建設省及び「道の日」実行委員会により設定されたものです。岩手県では、次の2箇所が選定されています。

現代と調和する歴史的道  
一般国道455号  
盛岡市寺町通り



芭蕉行脚の道  
主要地方道一関停車場線  
一関市